

# Embedded Technology 2017/ IoT Technology 2017 出展報告

SECプロモーショングループ 主任 荒川 明夫

IPA/SECは、2017年11月15日～17日の3日間、パシフィコ横浜展示ホールで開催された「Embedded Technology 2017 (ET2017)」及び同時開催の「IoT Technology 2017」に出展した。また、パシフィコ横浜会議センターでは、IPAセミナーを3日間8部構成で開催した。

## 1 展示会概要

Embedded Technology (ET) とは、一般社団法人組込みシステム技術協会 (JASA) が主催する最新テクノロジーの専門技術展であり、組込みシステム開発にかかわる技術者や開発者向けに最新技術などの情報を発信している。

また、IoT技術の最新動向を発信する展示会であるIoT Technologyが同時開催された。

## 2 出展概要



IPA/SECは、事業成果の普及・啓発を目的として、本展示会に毎年出展している。

今年は、IPA展示ブースにてブースプレゼンを3日間38回、SEC先端技術入門ゼミを3日間16回、隣接会場で行ったIPAセミナーを3日間8回、計62セッションを実施した。

また、SECの事業を中心にIPAで取り組んでいる組込みやIoTに関連する事業のパネル展示や資料配布、開発中のSTAMPツールのデモンストレーションを実施し、事業成果の普及啓発を図った。

## 3 IPA展示ブース

会期中は、展示ブースでブースプレゼン・SEC先端技術入門ゼミ・パネル展示・資料配布・STAMPツールのデモンストレーションを実施した。



展示コーナーでは、新刊である「組込みソフトウェア開発データ白書2017」をはじめ、IoT時代のソフトウェア開発におけるポイントをまとめた事業成果の展示や障害情報の共有促進、システム再構築時の上流工程強化策、コーディング作法ガイドなどのパネルを配置した。また、SECのみならず、情報処理技術者試験センターで行っている国家試験(情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験・エンベデッドシステムスペシャリスト試験)の紹介、2017年4月に設立した産業サイバーセキュリティセンターの紹介、セキュリティセンターから制御システムのセキュリティリスク分析ガイド、未踏グループからスーパークリエイタの事業を紹介するなど、各担当職員より来場者に説明を行った。

とくに「STAMP」や「システムズエンジニアリング」への関心が高く、関連したセッションを聴講する来場者の姿が多く見受けられた。

## 4 ブース内ステージ

今回も展示ブース内に2ステージを設け、ブースプレゼンとSEC先端技術入門ゼミを並行して実施した。ブースプレゼンは、IPA職員や関係者による事業成果の説明を中心に構成し、SEC先端技術入門ゼミは、外部有識者による最新技術動向や事例などの紹介を行った。

多くの方が両ステージの聴講に見え、3日間で延べ2,177名が参加した。

参加者からは「指標となるものを持っていなかったため、非常に勉強になった」「ユースケースが分かりやすかった」(ブースプレゼン)、「大変有用で参考になるゼミだった」「講演資料をウェブに公開してもらえるので、大変役立つ」(SEC先端技術入門ゼミ)などの意見が寄せられた。



## 5 IPAセミナー

展示ブースの運営と並行して、パシフィコ横浜の会議センターでは、会期中の3日間IPAセミナーを8部構成で開催し、延べ1,005名の参加があった。

今回のIPAセミナーは、各日異なるテーマにて実施した。

- 11月15日(水) テーマ：  
「IoT/AIで世界がどう変わっていくのか？  
どう変えていくのか？」
- 11月16日(木) テーマ：  
「つながる世界の安全・安心をデザインするには？」
- 11月17日(金) テーマ：  
「ソフトウェアの開発現場から見たデータを  
いかに活用するか？」

初日は、理事長の富田より「頼れるIT社会の実現を目指して」と題して、IPA全体の事業や社会環境について講演した。次に昨年を引き続き、2017年度 SEC journal論文賞表彰式を行った。表彰式の後、受賞者はIPA展示ブースにて受賞者講演を実施し、

論文の内容を紹介した。更に、新進気鋭の若手起業家・技術者をお招きし、トークセッションを実施した。この模様は、IPA/SEC Webサイトに公開したので、是非ご覧いただきたい。



2日目は、IoT社会でいかに安全・安心を実現するかについて、IPAの取り組みを理事の川浦より紹介し、国立大学法人名古屋大学の高田教授並びに情報セキュリティ大学院大学の後藤学長にご登壇いただいた。

3日目は、メトリクスの切り口から、IoT時代のソフトウェア開発について、IPA/SEC所長の松本より紹介すると共に、沖電気工業株式会社エバンジェリスト五味氏、早稲田大学の鷺崎教授にご登壇いただき、「組込みソフトウェア開発データ白書2017」についてなど、SEC事業成果の普及を図った。

## 6 出展を振り返って

今回の出展は、展示ブース位置の変更、小間数縮小、IPAセミナー会場変更と、これまでの出展に比べ、コンパクトかつ効率的な来場者とのコミュニケーションが求められた。展示コーナーのスペースを拡張し、IPAセミナーの開催日数を増やしたことにより、昨年同様、多くの方にIPA展示ブースに足をお運びいただいた。来場者の方から直接多くの貴重なご意見をいただき、これらを次回以降の出展や今後の事業の参考としたい。

## 7 謝辞

SEC先端技術入門ゼミ、ブースプレゼン、IPAセミナーにご登壇いただいた外部講師の皆様、並びに関係団体の皆様には、本展示会出展に際し、多大なるご支援を賜りました。ここに深謝いたします。

▶ Embedded Technology 2017/IoT Technology 2017  
—IPA/SEC Webサイト—  
<https://www.ipa.go.jp/sec/events/20171115.html>

- IPAセミナー・ブースプレゼン・SEC先端技術入門ゼミの講演資料がダウンロードいただけます(一部)
- 講演の様子を動画でご覧いただけます(一部)